

改定に向けた検討の視点【関連キーワードの用語解説】

資料3(補足)

1 自然の機能を活かした都市課題への対応

関連キーワード	用語解説
グリーンインフラ	自然環境が有する多様な機能を、都市環境の改善、防災・減災、地域の魅力向上等に活用する考え方。
NbS	自然を活用して、気候変動、防災、生物多様性等の社会課題の解決を図る考え方。グリーンインフラと関連する概念として用いられる。
気候変動適応	気温上昇や大雨の増加など、気候変動による影響に備え、被害の防止・軽減を図る取組。
暑熱対策	猛暑やヒートアイランド現象による暑さを緩和し、屋外空間の快適性や安全性を高める取組。
流域治水	河川だけでなく、雨水が集まる地域全体で水害リスクを低減する考え方。雨水の貯留・浸透や土地利用の工夫等も含まれる。
雨水貯留・浸透	雨水を一時的に貯めたり地中に浸透させたりすることで、河川や下水道への急激な流出を抑える取組。
防災・減災	災害の発生を防ぐ、または災害発生時の被害をできるだけ小さくする取組。公園・緑地は避難空間や延焼防止等にも関係する。

2 生物多様性の保全・回復に資するみどりの形成

関連キーワード	用語解説
生物多様性	多様な生きものが存在し、それぞれが関わり合いながら成り立つ自然環境のあり方。
ネイチャーポジティブ	生物多様性の損失を止め、自然を回復の方向に向かわせることを目指す考え方。
30by30	2030年までに陸域・海域の30%以上を保全することを目指す国際的な目標。
OECM	法令等に基づく保護地域ではないものの、生物多様性の保全に貢献している区域。
自然共生サイト	民間等の取組により、生物多様性の保全が図られている区域として国が認定する区域。
エコロジカルネットワーク	生きものの生息・生育空間をつなぎ、移動や分散がしやすい環境を形成する考え方。
在来種配慮	地域にもともと生育・生息している植物や生きものに配慮し、植栽や管理を行うこと。
外来種対策	地域の生態系等に影響を及ぼすおそれのある外来種について、防除や拡散防止を行う取組。

3 都市空間の魅力向上に資するみどりの活用

関連キーワード	用語解説
Well-being	身体的・精神的・社会的に良好な状態。みどりは、健康づくり、休憩、交流、心地よい滞在等を支える要素となる。
公園・オープンスペースの柔軟な活用	公園や広場等を、休憩・遊びに加え、交流、イベント、地域活動等の多様な用途に活用すること。
Park-PFI	民間事業者の資金やノウハウを活用し、公園施設の整備・管理運営を行う制度。
民間敷地のみどり	住宅、店舗、事業所、公開空地等の民有地にある樹木や植栽。都市の景観形成や暑熱緩和にも寄与する。
水辺空間の活用	河川、池、外濠等の水辺を、景観形成、散策、休憩、交流、にぎわい等に活用すること。
回遊性・滞在性	まちなかを巡りやすく、また、その場所で過ごしやすい性質。歩行空間、木陰、休憩場所、広場等と関係する。
にぎわい創出	人々の活動や交流を生み出し、まちの活力や魅力を高めること。

4 みどりの質の向上と持続可能な管理運営

関連キーワード	用語解説
良質な緑地の評価	緑地の量だけでなく、生物多様性、防災、景観、利用環境、管理状況等の質を評価する考え方。
官民連携	行政と民間事業者、地域団体等が連携し、公共的な取組を進めること。
多様な担い手	区民、事業者、地域団体、学校、NPO、ボランティア等、みどりの保全・創出・管理・活用に関わる主体。
樹木更新	老朽化、生育不良、倒木リスク等を踏まえ、樹木を計画的に植え替え、育成すること。
公園施設長寿命化	公園施設を計画的に点検・補修・更新し、安全に長く利用できる状態を保つ取組。
適切な維持管理	樹木、植栽、公園施設等を良好な状態に保つため、点検、剪定、補修、清掃等を計画的に行うこと。